



社協

ほどがや

No. 53

【発行】

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 TEL:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

全国社会福祉協議会会長表彰を受賞！ 和田・釜台地区社会福祉協議会

このたび、和田・釜台地区社会福祉協議会が、地域福祉の推進における長年の功績と継続的な取り組みが高く評価され、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。
心よりお祝い申し上げます。
これからも地域の皆さまのために、さらなるご活躍を期待しております。



こどもから大人まで、 誰もがつながり、安心して暮らせるまちへ。

地域には、年齢や立場を越えて支え合える力があります。社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる地域社会をみんなで作りだす」という理念のもと、子どもから高齢者まで、誰もが安心して集える場づくりを進めています。食を通じたふれあいや、認知症の方を地域で支える取り組みなど、住民一人ひとりが主役となるまちづくりが、少しずつ形になってきました。今回は、そんな地域のあたたかな動きや、未来につながる活動の様子をお届けします。

紹介します

わだ・かま食堂

～ みんなで楽しく !! 地域の絆をつなぐ地域の食堂 ～

高齢化やコロナ禍の影響で希薄になりつつあった地域のつながりを再び深めようと、住民アンケートや担い手懇談会などを重ねて生まれたのが、誰でも気軽に参加できる「わだ・かま食堂」です。和田・釜台地区社会福祉協議会が開催しています。

令和6年度には、他地区の見学・調査・子ども会等からの意見聴取を経て、16名の担い手が集まり、10月と翌2月に試験的な開催を決定。広報を始めと、企業や地域から食材提供の支援が寄せられ、寄付金も2件届くなど、温かい応援の輪が広がりました。

初回はカレーライス先着40食を用意し、小学生22名、大人34名の計56名が来場。予想を超える盛況ぶり、地域の新たな交流の場として幸先の良いスタートを切りました。

令和7年度には担い手がさらに4名増え、毎回寄付金も集まるなど、活動は着実に地域に根付くつつあります。今後は、子どもの居場所づくりや多世代交流の場として、年6回から12回の開催を目指し、担い手に無理なく、みんなが楽しめる食堂づくりを進めていきます。

誰もが気軽に参加できる場のなかで、子どもたちと一緒にふれあいながら楽しく活動できて嬉しいです。



友達といっしょに夕食が食べられてとても嬉しいです！

会場がにぎやかで、とても楽しくお手伝いしています！

取材しました

多世代交流サロン

みんなの居場所 わっか

～ 安心して暮らせる地域の「見守りの輪」～

中央東部地区社会福祉協議会では、「多世代交流サロン わっか」を地区内の2つの会場で開催しています。今回は、鎌谷町自治会館で開催されている「かまわっか」を紹介します。

インタビューに応じて下さった主任児童委員の大西さんは、参加者が一時ゼロとなり、活動の継続を悩んだ時期もあったそうです。そこで、今年度から子育てサロン「Qピー」と、「かまわっか」の合同開催という形でスタートし、新たな多世代交流の場としての活動へとつながっています。大西さんは、「参加者にとつての居場所づくりだけでなく、運営する側にとつてもやりがいや居場所となっている」と語っていました。

訪問時には、4ヶ月のお子さんを連れて初参加されたママが、別の参加者にお子さんをあやしてもらいながら、クラフトづくりを楽しむ姿が見られました。そこには、世代を越えて支え合う、安心して暮らせる地域の「見守りの輪」がありました。



クラフトづくり「満月とうさぎ」作成の様子

お知らせします

地域で支える認知症ケアの輪 チームオレンジ

～ 認知症の方も家族も、安心して暮らせるまちづくりを目指して～

地域ケアプラザでは、認知症の方が孤立せず、地域の仲間として輝ける環境づくりを進めています。誰もが安心して暮らせるまちを目指して、ぜひ「チームオレンジ」の仲間に加わってみませんか？

●チームオレンジって？

認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の方が主体となって支え合う取り組みです。認知症の方の「やりたいこと」や「希望」を大切に、ご本人やご家族もチームの一員として参加することが大きな特徴です。



認知症の人も畑作業で活躍中！

●主な活動内容は？

認知症の方の外出支援や見守り、話し相手などの日常生活支援をはじめ、認知症カフェやサロンの開催など、認知症の方とその家族の交流・情報交換の場の提供も行っています。また、認知症の理解を深めるための啓発活動や認知症の方の困りごとに対応できるように地域の支援者との連携強化にも取り組んでいます。

各地域ケアプラザで実施中！





地域食堂



高齢者サロン



配食サービス

■地区社会福祉協議会（以下、地区社協）

地域の方々が「自分の地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。保土ヶ谷区には22の地区社協があり、高齢者食事会、見守り活動、多世代交流イベント、子育てサロン、福祉保健講座、広報紙の発行など、地域住民同士のつながりづくりに向けて、各地区で様々な取り組みをしています。

地域の活動を
支える取り組みの
紹介するよ

企業や学校の社会貢献

区内の企業などが社会貢献の取り組みを行っています。

●具体的な取り組みは？

株式会社ジャンボリアが2017年から地域子ども食堂に食材提供を行っています。

赤い羽根共同募金

ご協力いただきありがとうございます。いただいた募金はふれあい助成金（ボランティアグループや市民活動団体などへの活動支援のための助成金）や福祉啓発事業（福祉施設の整備費や区社会福祉協議会の事業費）などに活用されます。

●令和6年度の実績は？

総額14,823,491円のご協力をいただきました。

●詳しい使い道は？

右記二次元コードからご覧ください。



世帯賛助会費

各自治会町内会からお寄せいただいた世帯賛助会費の60%はお住いの地区社協の活動費として還元されます。残りの40%は区社会福祉協議会の事業費として活用されます。

●令和6年度の実績は？

総額11,462,350円のご協力をいただきました。

ボランティアセンター

地域でボランティアを必要としている地域福祉活動団体や地区社協などに、ボランティアを紹介しています。ボランティア活動に関心のある方はぜひお気軽にご連絡ください。



ボランティア
登録はこちら



活動報告は
こちら

善意銀行

区民の皆様からの善意の寄付を受け付けています。いただいた寄付金は区内の地域福祉活動支援や生活困窮者支援に役立てられています。

◆寄付方法◆

区社協窓口（平日9時～17時）

銀行振込

横浜銀行 和田町支店（普通）0342527

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会

福祉協議会 善意銀行

※お振り込みの際は、必ず事前にご連絡ください

地域福祉保健計画（保土ヶ谷ほっとなまちづくり）

誰もが安心して暮らせるように、様々な人や団体がつながり、支えあって、身近な地域をより良くしていくための計画です。この計画は、地域での福祉や保健の取り組みを進めるための大切な指針であり、「見守り・支え合い」「いきいき健康」「担い手づくり・情報」の3つのテーマを掲げ、各地区の活動を支えています。

ご案内

ほっとなまちづくりフォーラム

～第42回保土ヶ谷区社会福祉大会～

地域福祉活動等に功績のあった方々の表彰などを行います。

多くの方のご来場をお待ちしています。

日時：令和8年3月7日（土）13：30～16：00（13：00開場）

場所：保土ヶ谷公会堂（保土ヶ谷区星川1-2-1）

内容：社会福祉功績者表彰式典、福祉バザー

地区活動発表（中央東部地区、常盤台地区、千丸台地区）

まってるよー！



ボランティア募集！

じゃがポラくんのPRを手伝ってくれるボランティアさんを募集しています！

詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。

じゃがポラくんのプロフィール

名前：じゃがポラくん

性別：じゃがいも

出身：保土ヶ谷のどかな大地

好きな食べ物：バター、しおから

苦手なもの：紫外線

特技：みんなをホクホクな気持ちにさせること

趣味：山をぐるぐる転がること

ボランティア活動を応援すること

誕生日は
3月15日!!



編集後記

民生委員を33年間務めた母の後ろ姿を見て育った私。子どもから、高齢者、認知症の方々等、みんなでワイワイ【和い、輪い】触れあう、そんなつながりを楽しみたい。社会人時代南米ブラジルに駐在中、日系老人ホームを子供たちと慰問に訪れました。日本への望郷の念を抱くお年寄りとの交流——“ふるさと”の歌に涙を流すお年寄りを通して、ふれあいの大切さを改めて考えさせられました。

（編集委員長 根本和治）

*この広報紙は共同募金配分金を活用して発行しています。

*この広報紙のデジ版を、保土ヶ谷録音グループ[はし]の協力により発行

しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会までご連絡ください。

【編集委員】（五十音順）内田優子・齊藤誠・佐々木安恵・菅沼久美子・

大尾美登里・根本和治・播口輝二・町田貴宏

